

講義名	経済情報特別演習 /情報処理特別研究			授業形態	
担当教員	澤田 清	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

データ構造とアルゴリズムおよびソフトウェア設計についてより深く学ぶことにより、情報技術の応用力および実践力を身に付ける。基本情報技術者試験の午後問題が解けるレベルを目指す。将来システムエンジニアなど情報技術系の仕事に就きたい学生の履修を歓迎する。

到達目標

データ構造とアルゴリズムおよびソフトウェア設計について、深く理解するとともに応用力および実践力を身に付ける。

提出課題

授業時に問題演習を行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に、全体または個別に説明する。

評価の基準

提出課題：50%、定期試験（筆記試験）：50%

履修にあたっての注意・助言他

「情報科学」「コンピュータシステム」「プログラミング」「アルゴリズム」「システム開発」「応用プログラミング」などの情報系科目をできる限り履修しておくこと。また、「経済情報特別演習」の履修前に「経済情報特別演習」を修得していただくことが望ましい。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

毎回、プリント資料を配付する。

授業計画

1. データ構造（1）
2. データ構造（2）
3. データ構造（3）
4. アルゴリズムの基本（1）
5. アルゴリズムの基本（2）
6. アルゴリズムの基本（3）
7. アルゴリズムの応用（1）
8. アルゴリズムの応用（2）
9. アルゴリズムの応用（3）
10. ソフトウェア設計の基本（1）
11. ソフトウェア設計の基本（2）
12. ソフトウェア設計の基本（3）
13. ソフトウェア設計の応用（1）
14. ソフトウェア設計の応用（2）
15. ソフトウェア設計の応用（3）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配付資料を用いて、授業内容および演習問題の復習を毎回4時間程度行うこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標を達成することは、経済学科DPの「人間、社会、自然に関する学問的成果の基礎」と経済情報学科DPの「情報処理に関する専門的知識および情報分析技術」を身に付けることである。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考